

第11回 宇都宮コミュニティFM「ミヤラジ」放送番組審議会議事録

1. 開催日時 2020年2月5日(水) 13時~14時 (1月20日開催予定から日程変更)
2. 開催場所 宇都宮市まちづくり交流センターイエローフィッシュ
3. 出席者 委員総数:7名 うち出席委員:4名
 - (1) 出席委員 長島 俊夫、廣瀬 佳正、田辺 義博、長谷川 正
 - (2) 放送事業者側 稲葉 克明、中村 長司、益子 早苗
4. 議題
 - (1) 番組の説明・試聴、意見交換
 - (2) その他
 - (3) 次回の開催日程
5. 議事内容
 - (1) 番組の説明・試聴、意見交換

①審議番組「トチペで Focus Now」(ナビゲーター: 益子早苗)

提供 生活情報マガジン「トチペ」

放送日 毎週火曜日 14:00~14:55

番組内容 農業に携わる人に Focus! 食材に Focus! 料理人に Focus! トチペに掲載されている内容にも Focus して、グルメ・農産物や地域に密着した話題などを伝える番組。月に1~2度ゲストも招く。

審議対象回 2019年12月17日(火) 放送分

出演: トチペ編集長 菊池 京子さん

フランチャイズで全国展開している iPhone 修理店「りんご屋栃木宇都宮店」オーナー 菊池さんがゲスト。

番組恒例の「編集長の今日は何の日」からスタート。

- (審議員) 知りたいと思っていたスマートフォンの話題が参考になった。水没してしまった話など普段の生活にあり得る内容で分かりやすい。オーナーの人柄が伝わった。引き込まれる内容だった。
- (審議員) 知っている人(編集長の菊池さん)が出演していると余計に聴きたくなる。1時間という放送時間は長いと思ったが、「直せなければ無料」という話の内容や情報が盛りだくさんで、あっという間に感じた。
- (審議員) 今はスマホ時代。スマホに対してのたくさんの商売が成り立っている世の中。時代に合った番組が必要。
- (事業者) 1時間番組として、飽きさせない工夫もしていて参考になる。
- (事業者) スマホでの映像配信や、トチペなどの情報誌(紙媒体)とラジオの融合を模索しているアプリのダウンロード数は約2万件。アプリの存在も大きい。ラジオが聴こえないエリアに対しての位置づけも考えていかなければいけない。

②審議番組 「帝京大学のココがすごい！！」(ナビゲーター：中嶋珠李)

提 供 帝京大学 宇都宮キャンパス

放送日 毎週土曜日 13:00～13:55

番組内容 帝京大学の教職員やキャンパス情報など、帝京大学の魅力を届ける番組。
研究内容に特化した回もあるが、一般の人にも分かりやすい内容。

審議対象回 2019年12月14日(土)放送分。

ゲスト：帝京大学 宇都宮キャンパス 総合基礎 主任 ヨコヤマ アツコさん

高校生向けの教科書を作成している先生。大学では「お母さん」的な存在。「卒業生が全国の教員になって活躍していることが嬉しい」と話す。

(審議員) 学生の様子が変わり大学のことがよくわかる。先生の伝えたいことがよくわかった。選曲がクラシックなものも良かった。

(審議員) 帝京大とは、街なかの2つの商店街も協定を締結している。文星芸術大学とも繋がりががあるので、「アニメ関係が元気な街」をラジオでPRしてはどうか。

(審議員) 放送日を土曜日としているのは、親や学生がターゲットと思われる。親が知りたい内容でわかりやすい。ナビゲーターが若いので、実際の「先生」と「生徒」のやり取りのようで良かった。この番組で、教育の場が分かりやすく伝わると良い。ミヤラジと大学の相性が良いように思う。高校の放送部などが出演してもコミュニティFMに合うのでは。

(事業者) ミヤラジでは、土曜日 14時から小・中・高生を迎える番組もある。子供たちの活躍を応援している。

(2) その他

審議員から、放送の在り方や今後の事業展開について質問があった。

(審議員) リスナー層は把握しているか、今後の番組作りなどについても聞きたい。

(事業者) リスナーの把握は難しい。番組を持っていただく方には「リスナーを育ててほしい」とお話している。今後は、リスナー参加型の番組を増やしたい。

(審議員) トチペなどとの「メディアミックス」は、継続的にやったほうがよい。ラジオとYoutubeなどの垣根がなくなっている。ネットの利用も検討してはどうか。

(3) 次回の開催日程

次回開催は、2020年3月30日(月)14時とする。

会場は宇都宮市まちづくり交流センターイエローフィッシュの予定。

6. 審議会の公表方法

- ・放送で公表する
- ・書面を当社事務所に備える
- ・ホームページに掲載する

以 上